

(様式4)

## 情報公開文書

課題名 :PBPM を活用した検査追加体制の構築と評価

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2027年3月31日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

### 1. 研究の対象

2023年10月1日～2025年9月30日に当院でベバシズマブ・ラムシルマブ・パニツムマブを含む抗がん剤での治療をうけられた方

### 2. 研究目的・方法

がん薬物療法においては、副作用評価や実施可否判断のために薬剤毎に異なる検査項目(採血・採尿)の確認が必要となります。これらをもれなく実施するために、副作用評価に必要な検査を薬剤師が追加で入力できるルールを構築する意義があると考えました。このような取り組みは「PBPM:Protocol-Based Pharmacotherapy Management プロトコールに基づく薬物治療管理」と呼ばれ、当院でも2024年10月から本取り組みを開始しています。今回の研究では構築前後での必要な検査の実態を調査し、その有用性を評価することを目的とします。

方法として、各薬剤の使用履歴より、薬剤が投与される予定日の採血項目に特定の検査の有無をカルテから後方視的に調査いたします。対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部  
情報: 処方内容および採血・採尿結果 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:  
浜松医療センター 薬剤科 野木村藍(研究責任者)  
静岡県浜松市中央区富塚町 328  
053-453-7111(病院代表)

2026年1月20日作成